

第 22 回 さいたま赤十字病院の近隣調剤薬局との連携会 議事録

日時：2023 年 7 月 14 日（金）17：30-18：40

場所：当院 7F 第 3 会議室

参加者：（敬称略・順不同）

アイン薬局

ウエルシア薬局さいたま新都心けやきひろば店

セイムスさいたま新都心薬局

各店舗より 1～2 名

医事課（外来係）1 名

相談支援課 1 名

薬剤部：興野副部長他、9 名

アルフレッサ：2 名

（さいたま市薬剤師会・南山堂薬局さいたま新都心店・サエラ薬局北与野店：欠席）

<議事>

1. 前回までの議事録の確認

- ・術前休薬指示対応について 新着状況報告（竹内）
 - ＊術前休薬指示書（新） → 整形外科から開始を検討中（開始時期は未定）
- ・TS-1 指導ツールについて
 - ＊服薬・休薬期間の内容を担保するプリントを各薬局へメール済み（HP 掲載は保留）
- ・抗がん剤治療情報提供書について
 - ＊免疫チェックポイント阻害薬用の抗がん剤治療情報提供書変更→年度内に行う方針

2. 各店舗からの連絡・提案事項等

- ・当院見学報告（化学療法関連）：南山堂（吉原）
 - 本日欠席にて、次回報告予定
- ・鎮咳薬の在庫状況及び欠品時の情報共有の在り方について：アイン薬局（宮城）
 - 今後こういった事態に備え、他店舗の在庫状況を分かるようなシステム、メソッドの構築を検討

3. さいたま赤十字病院から

薬剤部

- ・レジメン研修会について（亀井）
 - 8/18（金）18 時～開催予定（血液内科関連）

・災害時関連について（問註所）

＊近隣薬局へのアンケート結果

- ・災害時に薬局の中で連絡方法の取り決めがあるか（職員の安否確認、出勤可否など）
→ほとんどの会社で災害時マニュアルが整備されており、会社内で LINE やメールなどで確認できるシステムが構築されている
- ・被災状況、営業継続可否を薬剤師会などに連絡する方法はあるか
→有事の際に、どの薬局が対応できるのかの情報共有は今後の課題となる。さいたま市病院薬剤師会でも委員会が立ち上がったため、今後連携を希望していく方針
- ・独自の災害処方箋をつくっているか
→ないという回答が多数。今後、当院で基本形式を準備方針にて、形式案を作成次第提案予定。

＊質問（アイン薬局宮城）

- ・有事の際、病院にマンパワーが足りないとき、近隣薬局は病院薬局の人員補充として動くべきか、院外薬局として動くべきか
→院内のマンパワーに関しては他の日赤より派遣が想定されるため、基本は救護所などで発生した処方箋を、院外薬局として対応いただきたい。
- ・入院前服薬情報提供書の運用変更について（小村）
→現状は患者が薬局に作成依頼を行う形式だが、今後はお薬手帳のスキャン情報が1か月以上前の場合、現状の服薬状況を病院から調剤薬局に直接依頼する方針としたい。
- ・電子お薬手帳の運用について
電子お薬手帳、お薬手帳アプリの場合、印刷ができるのか
→アプリの種類によっては、出来ない可能性もあるが、ある程度は対応可能。

入退院センター

医事課

- ・特記事項なし

4. さいたま薬剤師会から

- ・野田会長より：対面で参加できない場合、Zoom 等で参加できないか打診あり
→今後ハイブリットに移行できるか検討

5. アルフレッサから

- ・薬局予約サービス「やくばと」紹介
→さいたま市病院薬剤師会としては、FAX コーナーの代替の一案といった扱い
今後拡大していくのであれば、連携を考慮する

＊次回の開催日 予定：2023 年 10 月 13 日（金） 17 時半～ 対面予定